

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスみどりそよ風（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムを日々職員間で立案して、様々な経験ができる。	発達に合わせたあそびづくりをしている。	保育者の発達に関する知識や療育・保育の技術向上に向けた研修などを行なっていく。
2	親子療育だから子育ての悩みを相談できる。	朝の引継ぎ、保育中、帰りの時間の振り返りで行っている。	ふりかえりの時間をより丁寧に確保する。保護者のニーズから研修を計画していく。
3	子どもたちが室内や屋外（テラス、園庭）など事業所内で活動が楽しめる環境がある。	子どもの好きなあそびに応じて環境を作って、子どもたちが気持ちよく過ごせるようになっている。	より子どもたちが安心安全に過ごせるように環境の整備や危険個所の補修をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育園との交流機会が十分ではない。	子どもの状況によっては、大きな集団と交流することが難しい場合もある。	保育園や地域の事業所との連携を進めながら、必要に応じて子どもたちの交流ができる機会を作っていく。
2	ペアレントトレーニングの内容がより充実されるといい。	保育者が企画する研修だけでは、保護者のニーズに応えきれない場合もある。	保護者のニーズの聞き取りや必要に応じて外部講師による研修を企画することも検討していく。
3	利用人数が少ない日もあるため、集団活動が保障できない時もある。	小集団での療育をしているため、欠席などにより利用人数が少ない場合は、集団活動よりも個別な活動が主になりやすい。	利用人数に応じて、集団活動や個別活動などのプログラムを臨機応変に組み込んでいけるように職員間で立案をしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	デイサービスみどりそよ風（児童発達支援）	公表日	2025年 3月 20日	
		利用児童数	4	回収数 4

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3			1		日々の保育での振り返りなどで支援内容を保護者にもより分かりやすく伝えられるよう、努力していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2				児童の様子や集団に合わせて、保育所等の交流を検討していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		引き続き、保護者研修を計画し実施していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4					
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1				引き続き、相談には迅速な対応ができるよう努力していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4					
非常時等の対応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1		引き続き、利用児も参加する防災訓練なども実施してまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4						
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29 事業所の支援に満足していますか。	4					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービスみどりそよ風 (児童発達支援)				公表日	2025年 3月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		開所日に掃除や環境整備を実施しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		支援後に毎回、振り返りを行なっています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3					
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1				パートスタッフへの研修計画も充実させていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		支援に携わる職員で担当者会を行なって、作成を進めています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1				必要に応じてアセスメントツールなども使用して、子どもの姿の捉えを深められるようにしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		季節の行事や屋外の取り組み、室内での取り組みなどを行なっています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3					
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3						
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3						
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		基本的に6か月に1回、モニタリングを行なっています。				
関係機	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3					
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3					
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	移行する際には、引継ぎ表を作成し移行先に送付しています。また移行後に必要時に応じて訪問も行なっています。			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2				対象となる児童が利用となった際には、必要に応じ行なっています。

関 や 保 護 者 と の 連 携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3			
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	3		同法人の保育園との交流があります。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	保護者の状況に合わせた、学習会などを計画し行なっています。	引き続き、保護者の状況に合わせた研修計画を進めています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		行事には保護者だけでなく兄弟も参加できるようにしています。母親が交流できる機会を作っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		毎月おたよりを発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		書類などは鍵付きの棚に保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	行事などに地域の方の参加を呼び掛けています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	定期的な訓練を行なっています。	
非 常 時 等 の 対 応	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	1	該当する児童が利用する場合は、必要に応じて保護者に確認をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		引き続き、計画の見直しなども行い研修や訓練を行なっていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		保護者にも分かりやすい方法で周知できるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスみどりそよ風（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが自己選択や自己発揮ができるプログラム作りがされている。	子どもたちの一緒に会議を行ない、プログラムの立案をしている。 キャンププログラムなど親元から離れ、自分で生活をする経験などができる機会がある。	子どもが自分で選択できる場面や子ども集団の中で自己発揮ができるプログラムを職員間でも立案し行なっていく。 社会経験なども積み上げられるようなプログラムを計画していく。
2	保護者と情報共有が直接できる機会がある。	帰りの送迎を事業所に保護者が迎えに来てもらうことで、その日の様子などや家庭状況や困りごとなどを直接話せる機会を作っている。	直接話せる機会を引き続き作りつつ、必要に応じては個人懇談や家庭訪問などの支援につなげていく。
3	子どもが安心して過ごせる環境がある。	園庭やウッドデッキ、集団から分かれて過ごせる部屋など、子どもたちの様々な状況にも安心して過ごせる環境づくりをしています。	子どもの特性に合わせた環境づくりができるよう、必要に応じて備品の購入や環境の整備を行なっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員研修（パート職員も含む）の機会をより充実させていくことが必要。	研修の時間などがパート職員などには参加しにくい時間帯になる場合がある。 研修に出るための人員確保が難しい。	職員が参加しやすい時間帯での開催や、研修を受けるための人員を確保できるようにしていく。
2	保護者研修や交流の機会が少ない。	研修を開催する場合に事業所を開所しながら行うことが難しく、企画することが難しい。	法人内の事業所同士で連携して、合同で行うなどして保護者のニーズに合わせた研修をより多く開催できるように努力していく。
3	事業所の構造や設備のバリアフリー化が十分ではない。	事業所の構造としてバリアフリー化が難しい。	必要に応じて危険箇所などを可能な範囲で補修や改修していく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日					回収数	
デイスサービスみどりそよ風(放課後等デイスサービス)	2025年 3月 20日					25	12
	利用児童数					25	12
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2				引き続き、必要に応じて対応医していきま
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1				引き続き、必要に応じて対応医していき ます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3				子どもの特性に合わせた環境整備をして いきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイスサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイスサービス計画には、放課後等デイスサービスガイドラインの「放課後等デイスサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 放課後等デイスサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	2	2		引き続き、児童館や地域の子どもの交 流する機会づくりをします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイスサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています	8	2	1	1		保護者への研修会の企画などを行なって いきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8		2	2		同法人内で行なわれている事業なども活 用して、保護者や兄弟などへの支援も進 めてきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			2		引き続き、相談、個人懇談の申し入れ、 苦情等には、職員間で共有し迅速に対応 できるよう努力していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	11	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発 信されていますか。	10		1	1		引き続き、おたよりを毎月発行してい きます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	1	1		マニュアルの周知を行なっていきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	6	1	1	4		訓練の実施などを保護者にも周知してい きます。
非 常 時 等 の 対 応	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	9		1	2		引き続き、計画の周知や安全に支援が行 える環境づくりを進めていきます。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				毎回利用をととても楽しみにし	
満 足 度	29 事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービスみどりそよ風（放課後等デイサービス）				公表日	2025年 3月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4						
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3			バリアフリー化はされていません。必要に応じて、設備の改修などを行ないます。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			毎日の清掃や、必要に応じて危険箇所を補修・整備することを心がけています。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4						
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4						
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			日々の振り返りにて、意見などを伝えあう時間を設けています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4						
適切な支援の提供	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4						
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4						
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4						
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			アセスメントツールを常用的には使用していない。子どもの状況に応じて使用することも検討します。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4						
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4						
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			利用児童と共にプログラムを考える場を作っています。			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4						
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4						
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4						
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4						
	23 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4						
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4						
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	4			日々のおやつメニュー決めや活動内容などを一緒に決まっています。			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4						
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4						
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4						
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4						
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1			移行した実績がありません。必要に応じて情報提供などを行ないます。		
関係機関や保護者との連携	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4						
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			地域の児童館にあそびに行くなどのプログラムを定期的に行なっています。			
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		積極的に参加をしています。	職員にも参加している旨を周知していきます。		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			帰りの送迎時に保護者と対面でコミュニケーションが取れるようにしています。			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	父母会はありませんが、交流会や親子行事を実施しています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月おたよりの発行を行なっています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4				
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起きた際に、その日の振り返りで情報共有と対策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		法人全体で研修を計画し、職員が研修を受けられるようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			